

## 三重県の食について e-モニターアンケート実施報告書

三重県の食についてのアンケートの実施結果を、下記のとおりご報告いたします。  
アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆様には厚くお礼申し上げます。

### アンケート概要

- 1 実施期間 平成 25 年 1 月 18 日（金）から 2 月 6 日（水）まで
- 2 対象者数 1,332 人
- 3 回答数 882 人
- 4 回答率 66.2%
- 5 回答者属性

#### 【性別】

	男性	女性
回答者数	482 人	400 人
構成比	54.6%	45.4%

#### 【年齢階層別】

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
回答者数	75 人	182 人	230 人	214 人	139 人	42 人
構成比	8.5%	20.6%	26.1%	24.3%	15.8%	4.8%

#### 【地域別】

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
回答者数	427 人	261 人	95 人	74 人	25 人
構成比	48.4%	29.6%	10.8%	8.4%	2.8%

北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中南勢：津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

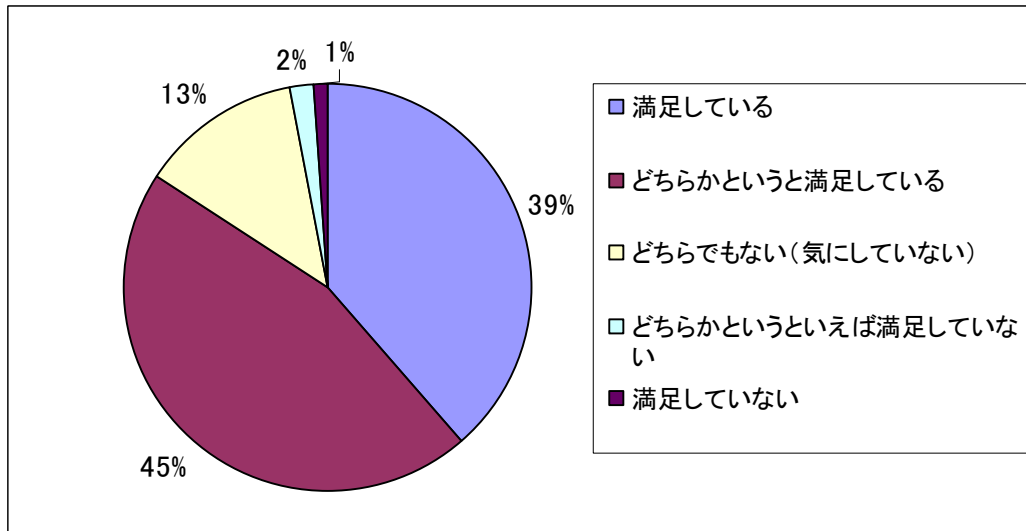
伊賀：名張市、伊賀市

東紀州：尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

## アンケート結果

### Q1 生産物について

あなたは、三重県産の食品のうち生鮮物（青果物、魚介類、米、肉等）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

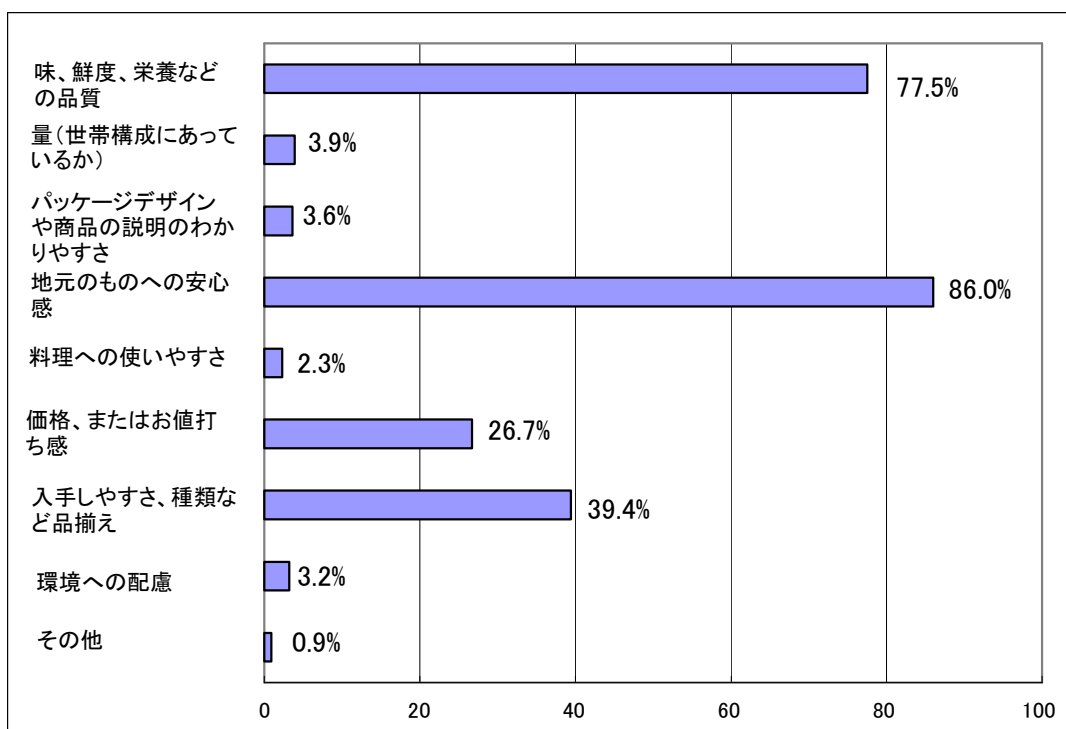


三重県産の生鮮物について、「満足している」と回答された方は340人（38.5%）、  
「どちらかという満足している」と回答された方は401人（45.5%）でした。

### Q2 Q1でそう感じた理由

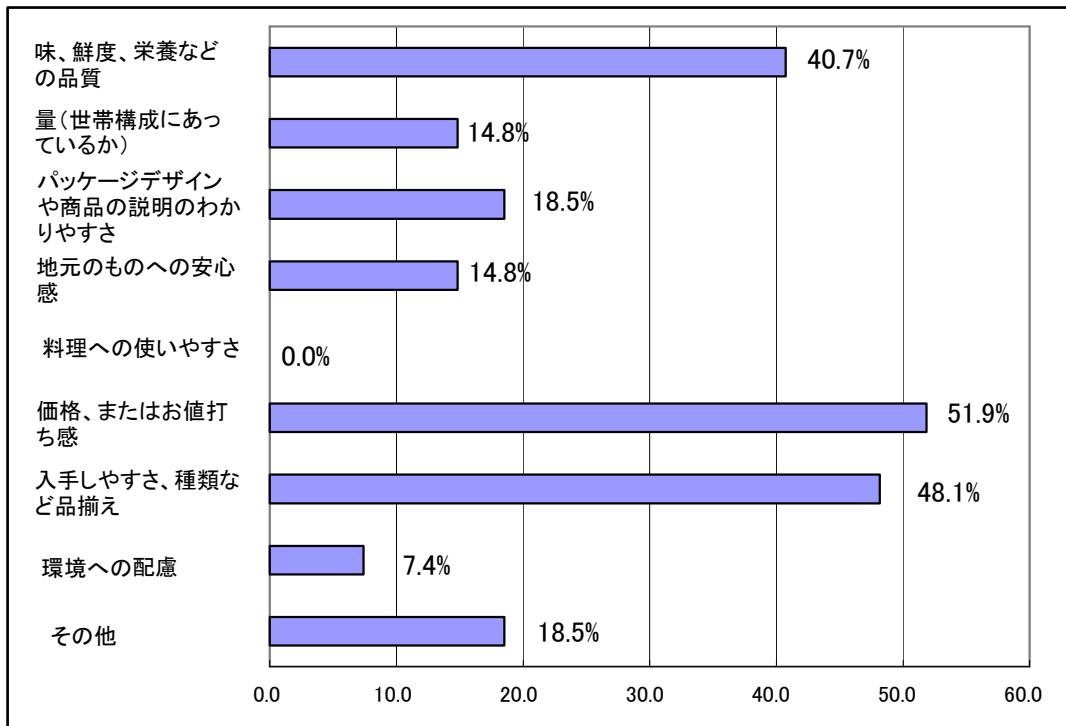
Q1でそう感じた理由を3つまで選んでください。

● 「満足している」「どちらかという満足している」を選択された方（741人）



「地元のものへの安心感」を選択された方は637人（86.0%）、「味、鮮度、栄養などの品質」を選択された方は574人（77.5%）でした。

● 「満足していない」「どちらかという満足していない」を選択された方（27人）

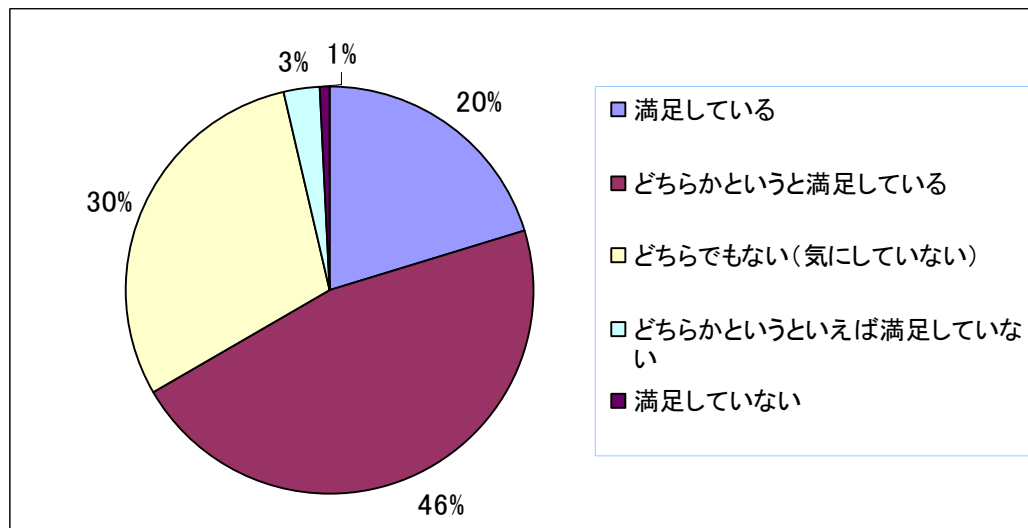


「価格、またはお値打ち感」を選択された方は14人（51.9%）、「入手しやすさ、種類など品揃え」を選択された方は13人（48.1%）でした。

「その他」の回答では、「県外産品が多い」「特徴がない」などがありました。

Q3 加工食品について

あなたは、三重県産の加工食品（三重県産の食材を利用した加工食品）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

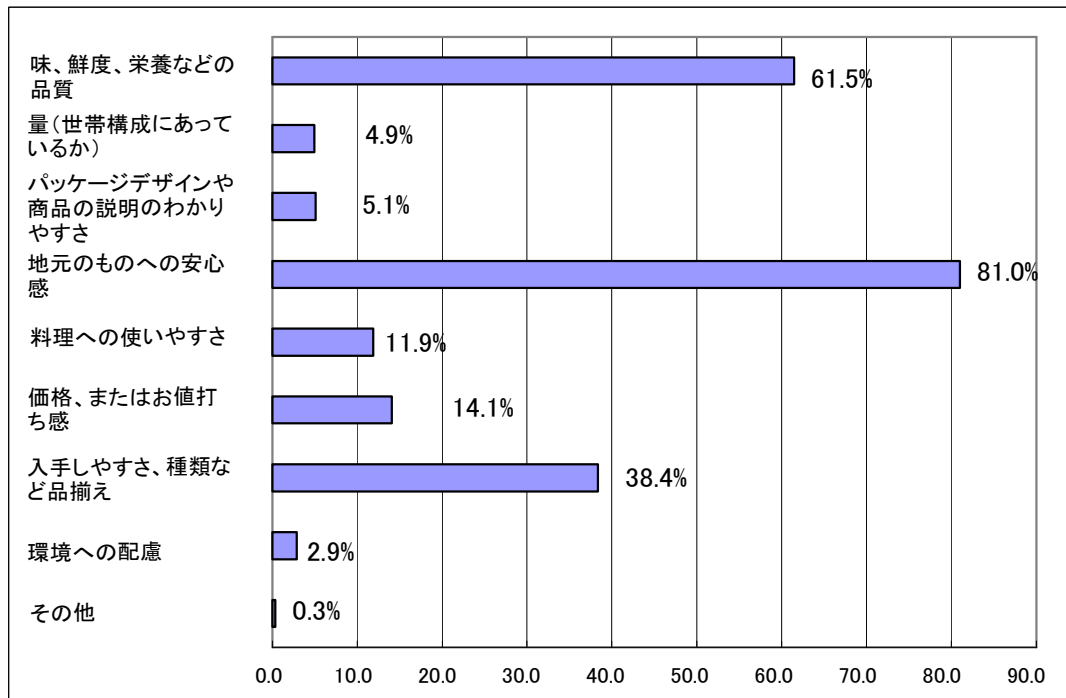


三重県産の加工食品について、「満足している」と回答された方は180人(20.4%)、「どちらかという満足している」と回答された方は409人(46.4%)でした。

#### Q4 Q3でそう感じた理由

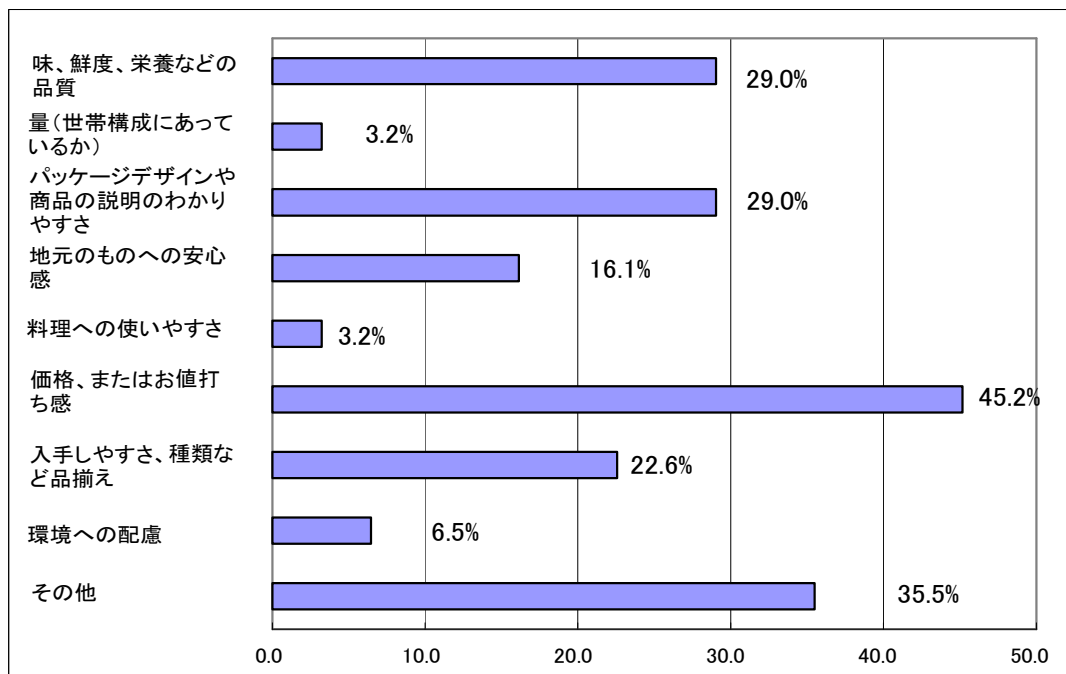
Q3でそう感じた理由を3つまで選んでください。

●「満足している」「どちらかという満足している」を選択された方(589人)



「地元のものへの安心感」を選択された方は477人(81.0%)、「味、鮮度、栄養などの品質」を選択された方は362人(61.5%)でした。

●「満足していない」「どちらかという満足していない」を選択された方(31人)

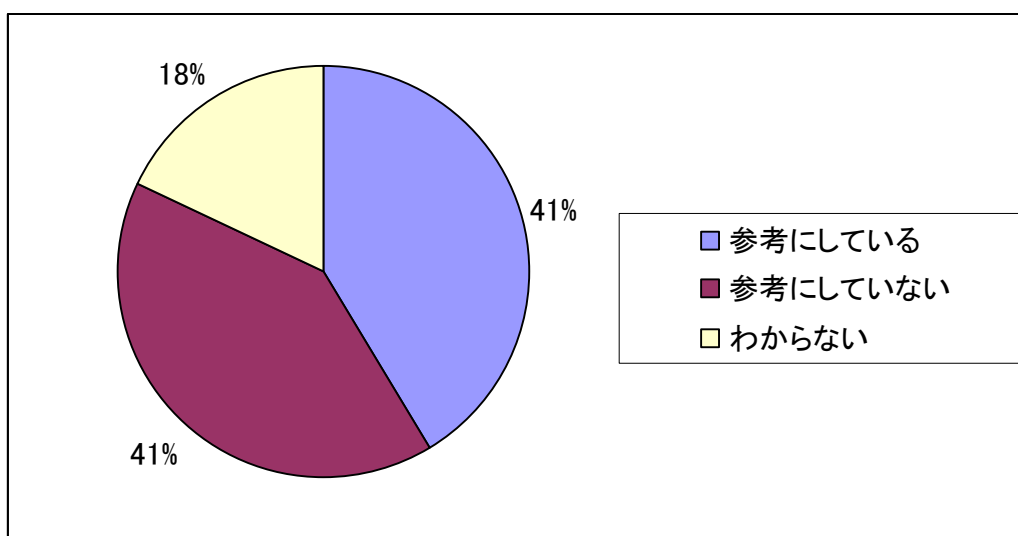


「価格、またはお値打ち感」を選択された方は14人（45.2%）、「その他」は11人（35.3%）でした。「その他」の回答では、「種類が少ない」「特徴がない」などがありました。

#### Q5 食生活指針について

日々の食習慣についてお聴きします。

ふだんの健全な食生活を実践するために、食生活上の何らかの指針等を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

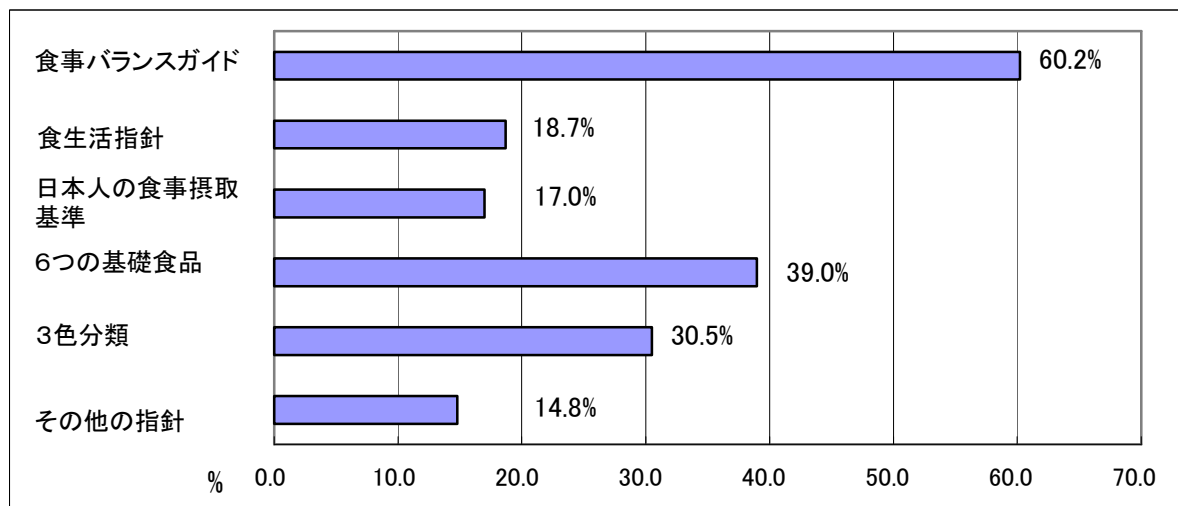


食生活上、何らかの指針等を「参考にしている」と回答された方は364人（41.3%）、「参考にしていない」と回答された方は359人（40.7%）でした。

#### Q6 参考にしている指針について

Q5で「参考にしている」と答えた方にお聴きします。

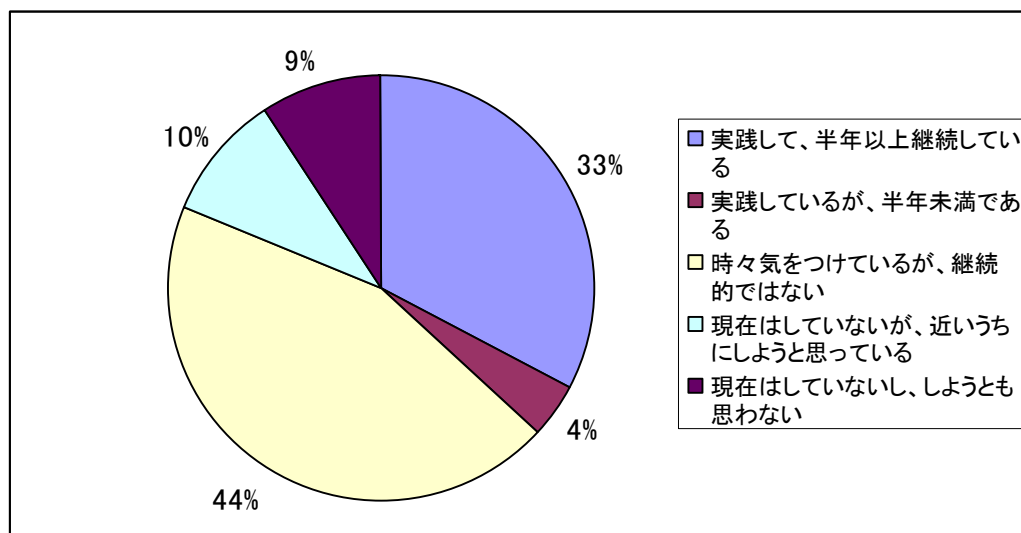
どのような指針等を参考にしていますか。3つまで選んでください。



「食事バランスガイド」を選択された方は219人（60.2%）、「6つの基礎食品」は142人（39.0%）でした。

#### Q7 メタボリックシンドロームについて

メタボリックシンドローム（内蔵脂肪症候群）の予防や改善のために、「適切な食事」「定期的な運動」「週に複数回の体重測定」のいずれかを実践していますか。あてはまるものを1つ選んでください。



メタボリックシンドロームについて、「時々気をつけているが、継続的ではない」と回答された方は390人（44.2%）、「実践して、半年以上継続している」と回答された方は289人（32.8%）でした。

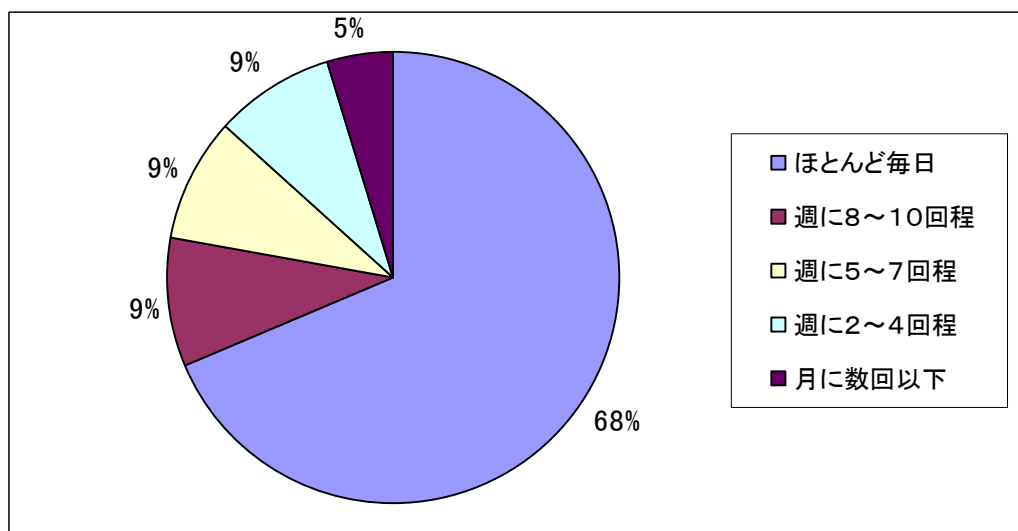
#### Q8 家族との食事について

同居家族がいらっしゃる方にお聴きします。

家族と一緒に食事をする機会は何の程度ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※ 家族の数は問いません。

※ 朝食および夕食の場合でお答えください。（1週間で総数14回になります。）

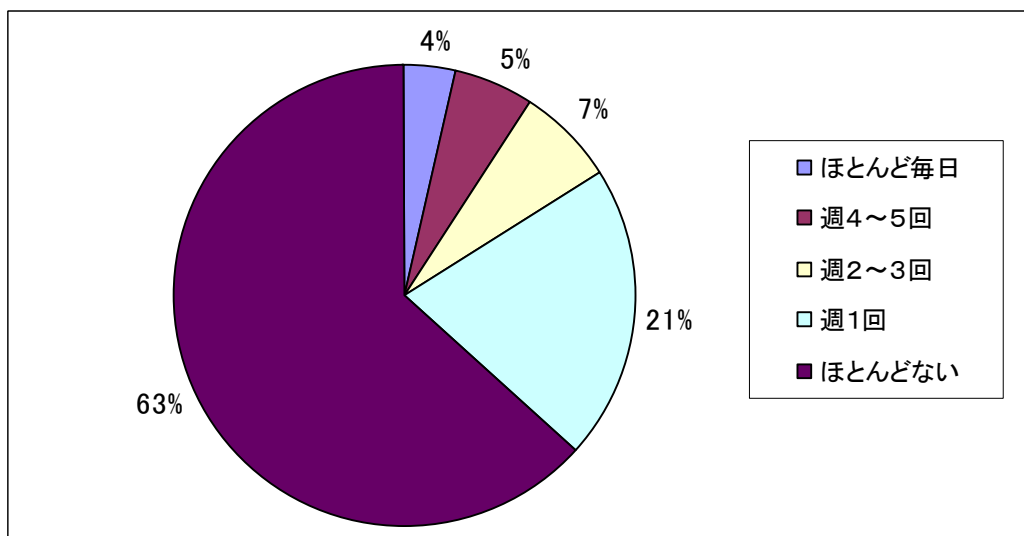


家族との食事について回答された方は836人で、そのうち「ほとんど毎日」と回答された方は573人（68.5%）でした。

#### Q9 家族以外との食事について

全員にお聴きします。

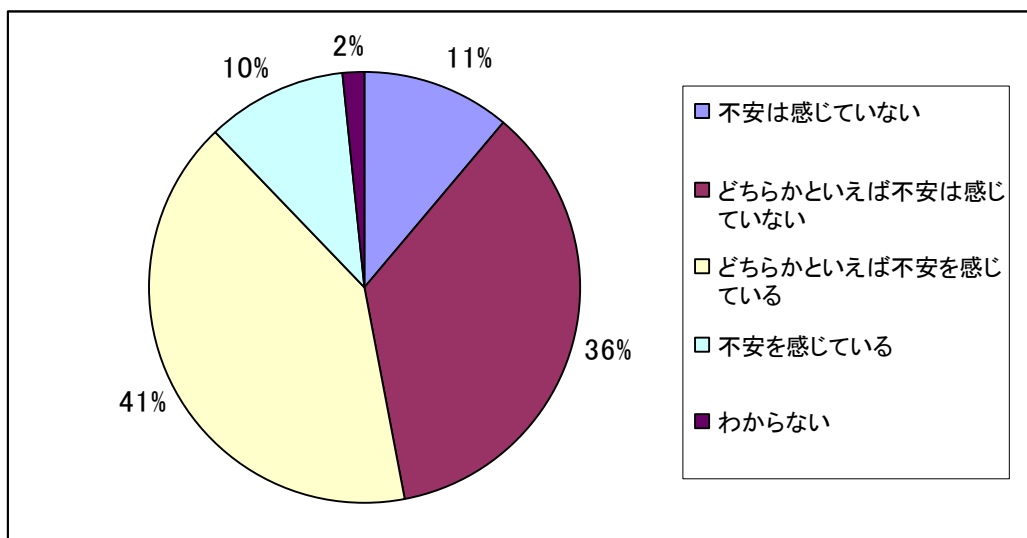
家族以外の方（友人・知人・会合など）と一緒に食事をすることはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



家族以外との食事について、「ほとんどない」と回答された方は557人（63.2%）、「週1回」と回答された方は181人（20.5%）でした。

#### Q10 食品の安全性について

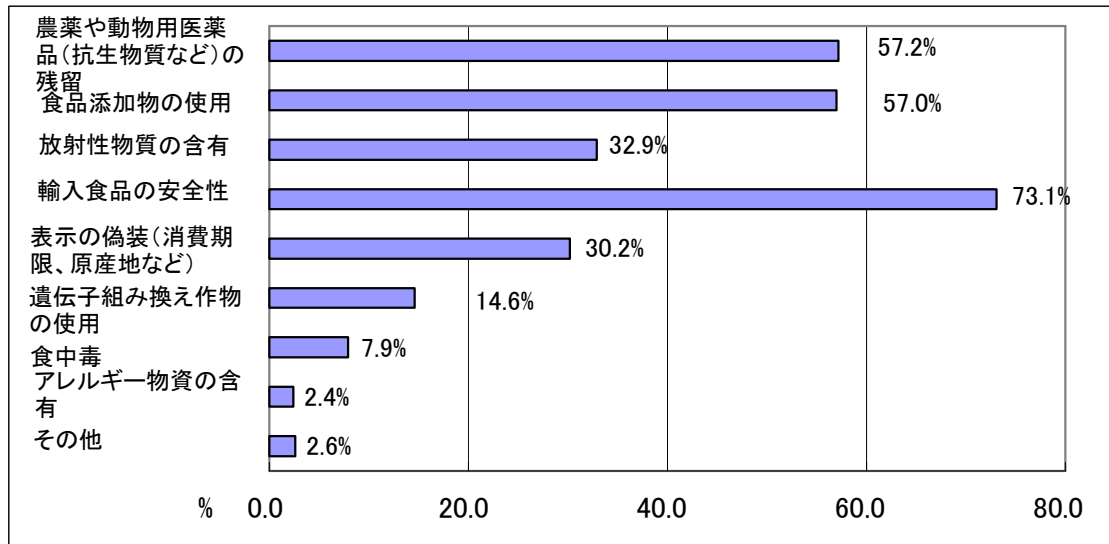
あなたは、食品の安全性について、普段どう感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。



食品の安全性について、「どちらかといえば不安を感じている」と回答された方は361

人（40.9%）、「どちらかといえば不安を感じていない」と回答された方は317人（35.9%）でした。

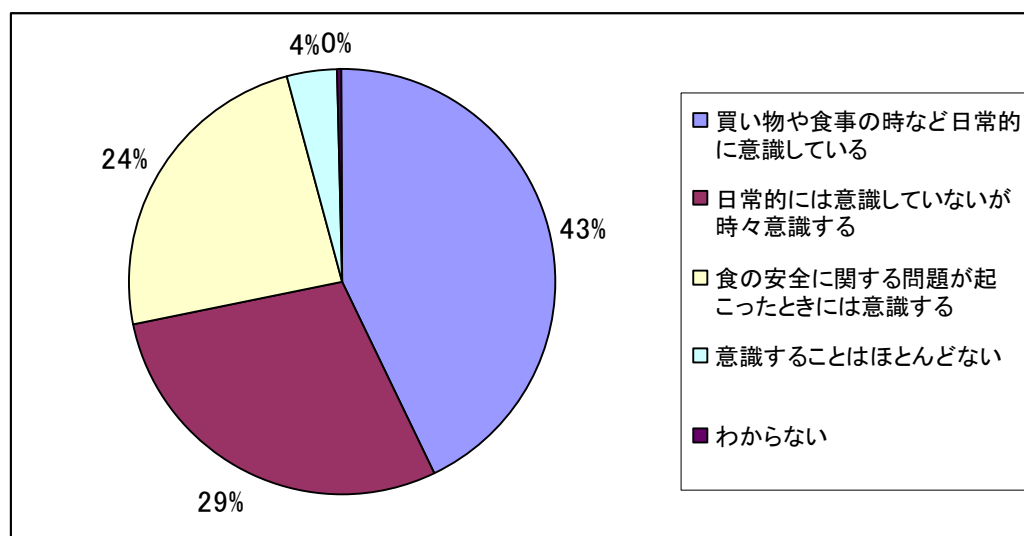
Q11 Q10で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」と答えた方にお聴きします。それはどのような不安ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。



Q10で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」と答えた方は453人で、どのような不安かについては「輸入食品の安全性」と回答された方は331人（73.1%）、「農薬や動物用医薬品（抗生物質など）の残留」と回答された方は259人（57.2%）、「食品添加物の使用」と回答された方は258人（57.0%）でした。

Q12 食の安全に関する意識について

あなたは、どのような時に食の安全について意識しますか。あてはまるものを1つ選んでください。



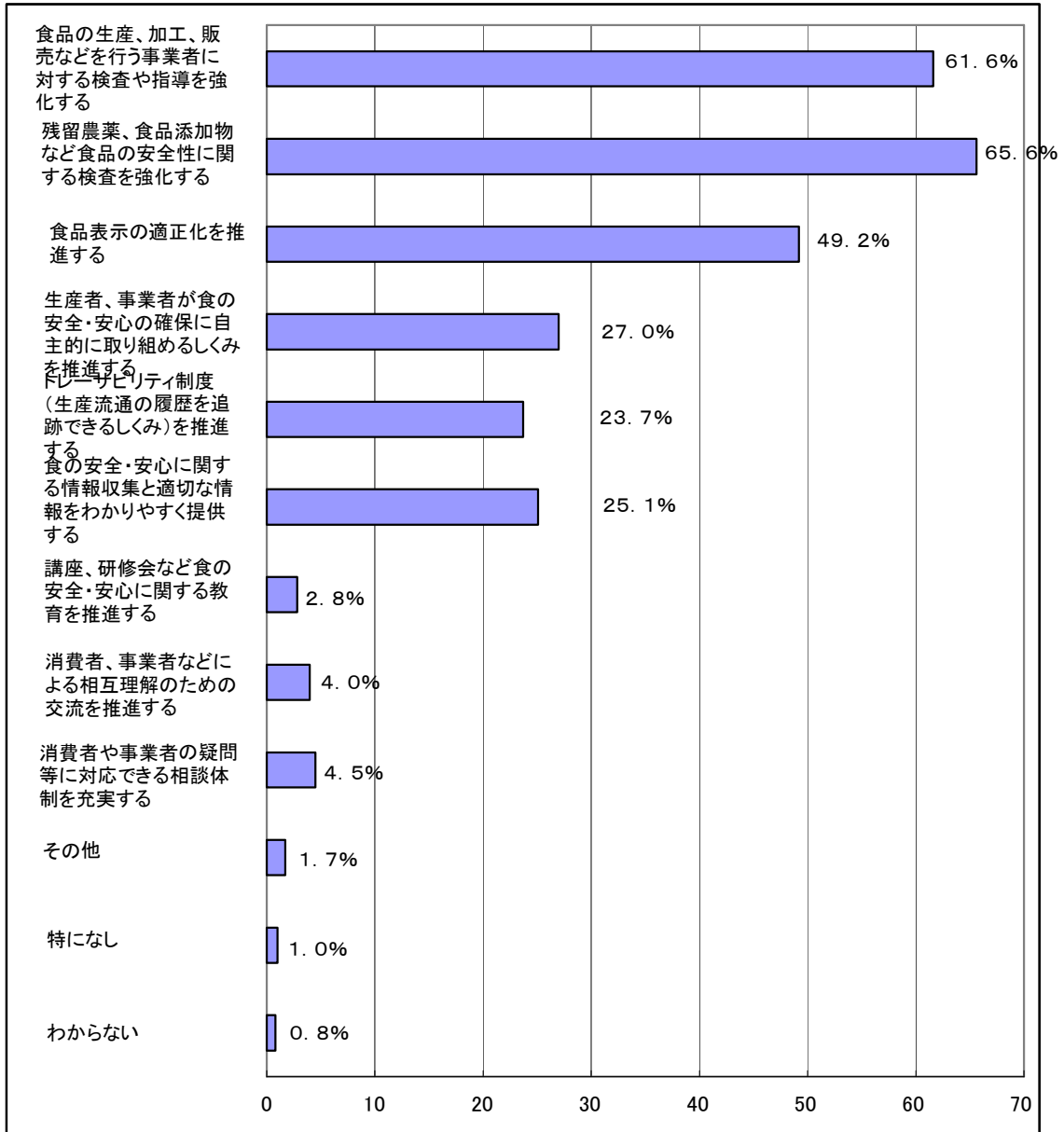
食の安全に関する意識について、「買い物や食事の時など日常的に意識している」と回答された方は376人（42.6%）、「日常的には意識していないが時々意識する」と回答された方は255人（28.9%）でした。



Q13 食の安全・安心のために行政に期待する取り組みについて

現在、行政では、食品の安心を得るためにさまざまな取り組みを行っていますが、次の中で、あなたが期待する取り組みはどれですか。

あてはまるものを3つまで選んでください。



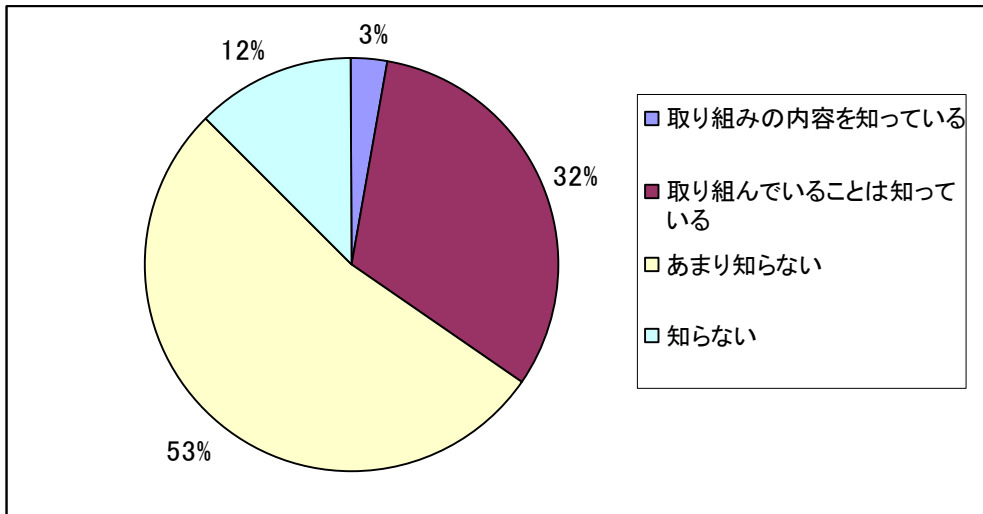
食の安全・安心のために行政に期待する取り組みについて、「残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する」と答えた方は579人（65.6%）、「食品の生産、加工、販売などを行う事業者に対する検査や指導を強化する」と回答された方は

543人（61.6%）でした。「その他」の回答では、「放射性物質の検査」「罰則の強化」などがありました。

Q14 食の安全・安心確保のための行政の取り組みについて

行政が、食の安全・安心確保ために取り組んでいる具体的な内容について、どの程度ご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

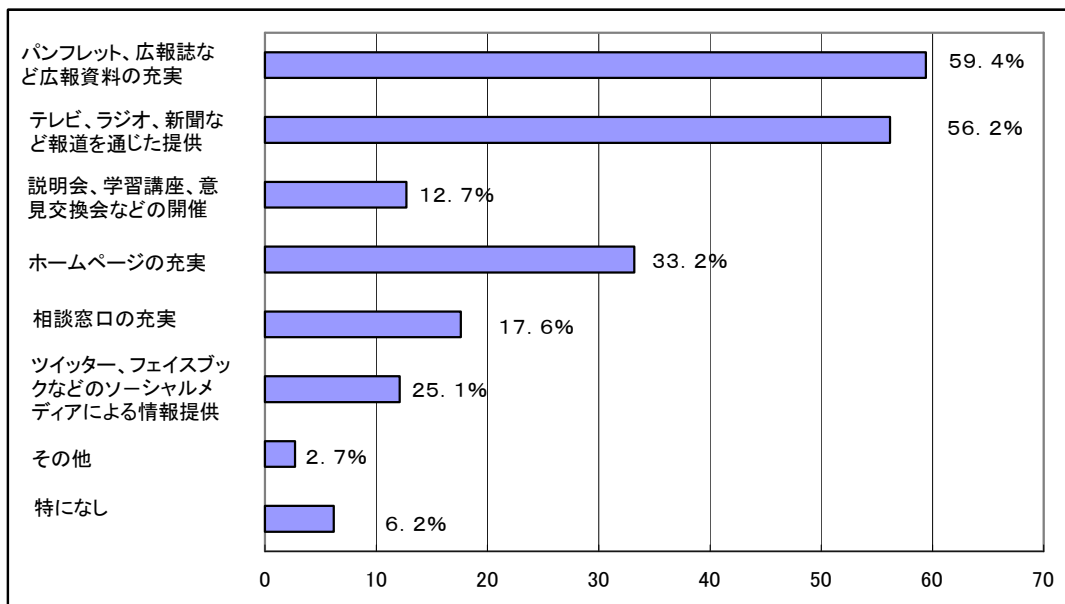
※具体的な取り組み内容は、Q13の選択肢を参考にしてください。



食の安全・安心確保のための行政の取り組みについて、「あまり知らない」と答えた方は466人（52.8%）、「取り組んでいることは知っている」と回答された方は281人（31.9%）でした。

#### Q15 食の安全・安心に関する情報提供について

食の安全・安心に関する行政からの情報提供の取り組みとして、あなたが今後、進めてほしいものはどのようなことですか。あてはまるものを3つまで選んでください。



食の安全・安心に関する情報提供について進めてほしいものは、「パンフレット、広報誌など広報資料の充実」と答えた方は524人（59.4%）、「テレビ、ラジオ、新聞など報道を通じた提供」と回答された方は496人（56.2%）でした。

いただきました意見は、今後の地産地消、食育、食の安全・安心事業の取り組みに生かしていきます。e-モニターの皆様、ありがとうございました。